

NPO 法人日本空手松涛連盟静岡県本部

静岡松涛タイムス 第47号

発行元：静岡県本部広報部

責任者：滝田宏平

連絡先：0547-36-1238(TEL) 0547-36-1293(FAX)

E-mail：kouheichan@tiara.ocn.ne.jp

URL：http://www.shizuoka-karate.com/ (公式 HP)

http://www4.tokai.or.jp/sougou/ (広報部)

画像：桃の花

平成 22 年静岡県本部新年会



平成 23 年の静岡県本部の新年会が、1 月 31 日(日)に、静岡市内の「ホテルセンチュリー静岡」にて盛大に行われました。当日は、時折風花の散らつく、この冬 1 番の厳しい冷え込みとなりましたが県内各地より大勢の関係者が駆けつけました。稲毛隆本部長の新年に向けての抱負と、力強い決意あふれる挨拶に続き、来賓の先生方、総本部理事長の松井武男先生より挨拶を頂きました。静岡県本部副会長、神津賢一郎先生の乾杯のご発声に続き懇親会となりましたが、どのテーブルでも和やかなムードの中、久しぶりの再開を楽しんでいました。今年も本新年会をスタートに公式事業が本格始動します。県内各支部が一丸となり、昨年以上の、実りのある素晴らしい一年になることを心より願っております。(レポート：広報部 秋山高士)

平成 23 年全将陽館道場合同稽古始め

年が明け、平成も 23 年目を迎えた 1 月 9 日(日)に、「平成 23 年全将陽館道場合同稽古始め」が焼津市の将陽館本部道場にて行なわれました。当日は、昨年末からの猛烈な寒波が東海地方までを覆い、たいへん寒さの厳しい 1 日となりましたが、朝早くから将陽館各道場より幼年から一般まで、約 60 名の道場生が集まりました。久々に顔を合わせるメンバーも多く、和やかなムードの中、菊池伸幸支部長の「全員整列！」の掛け声が響くと道場内は一転、皆が緊張した表情に変わりました。将陽館館長、菊池将元先生より本年に向けての抱負と目標の発表の後、全員が片道約 3km の浜までランニングを行ないました。若手指導員が、救護や誘導・監視に分かれ、道場生の体調や周囲への安全に気を配りながら伴走し、ランニングを楽しみました。海岸に近づくにつれ、寒くて非常に強い海風が吹いてきましたが、全員が、へこたれることなく目的地の浜まで到着しました。一息いれた後、全員で平安の型を、大きな号令と共に初段から流しました。五段を終える頃には、道場生の顔には大粒の汗が浮かび、心地いい汗を流した後、再びランニングで道場まで戻りました。館長も自ら上級生グループに混じり完走し、日頃より鍛え上げている自慢の健脚を披露しました。道場では父兄の皆さんが、熱々の豚汁やお汁粉・おでんを用意して、皆を迎えてくれました。全員が 1 人ずつ本年の目標を発表した後、全員で美味しくいただきました。本年 1 年間の長丁場に向け、道場生にとって充実した年になりますよう、心より願っております。(レポート：焼津将陽館 竹内進也)



清水支部烈士館特別講習会

2月10日(木)、イタリアで空手のご指導をされている国際松濤館空手道連盟の三浦勝先生を烈士館にお招きし稽古を行いました。普段は笑顔が優しく穏やかな雰囲気先生ですが、技を極める瞬間は全く別人の様。大して動いてもいないのに、私も含め参加した諸先生方の攻撃がことごとくかわされ、次第に息が上がっていく我々に対して、三浦先生は呼吸ひとつ乱れていませんでした。攻撃を“さばく”というよりは“そらす”という感じで、気付けば自分の全力拳が空を切っていました。先生の動きには全く無駄が無く、攻撃に合わせ重心を前へ、そして腰をほんの少し切る事で相手の勢いを断ってしまうのです。受けの大きな動作もほとんどせず、腕は腰に連動させ添える程度でした。そして何よりも「前へ」という気持ちが大事だと感じました。攻撃に対し、下がるのは戦法の一つでも有り、誰にでもできることです。しかしその瞬間に前へ出る、簡単な様でありますがいよいよ強い気持ちが無いとできません。どんな大きな相手でも、ひるむことなく常に前へ出る三浦先生のスタイルは、特に学ぶべきところだったと思います。練習後は稲毛先生の御宅で、三浦先生を囲んでイタリアでの生活・空手の練習など色々なお話を伺いました。数年前来日された際にも稽古に参加させていただきましたが、年月を重ねても衰えなど全く感じさせることなく、変わらぬ力強さとその穏やかさでご指導下さいました。限られた時間の中でできるだけ多くを盗もう思いましたが、そこにはやはり長年をかけ空手の道を一步一步踏みしめてきた積み重ねがあり、到底私には及ばない事ばかりでした。それでも焦らず先生のように“生涯現役”を目指して、こつこつと空手に取り組んでいきたいと思ひます。せっかく空手に出会えたのですから。(レポート：清水支部烈士館 西村和樹)

三浦 勝(みうら まさる)1939年静岡県に生まれる。13歳より空手を始め、拓殖大学空手部に入部。中山正敏師範・金澤弘和師範に松濤館流空手を学ぶ。卒業後、中山師範の命を受け、空手未開の地であったヨーロッパに渡り、現在までイタリアに45年間に渡り空手道の普及に尽力している。現在、国際松濤館空手道連盟イタリアのテクニカルディレクター。72歳

県本部主催技術強化・車椅子講習会

平成23年最初の講習会が2月20日(日)に静岡市北部体育館にて開催されました。今回の講習会では、「技の意味を理解した上で型への適用法」を荒井徹先生(御殿場)より指導があり、県内トップ選手を相手に模範を示していただきました。また、通常の技術講習会に平行して、高校生以上の会員を対象に車椅子空手講習が行なわれ、水上勇先生(静岡東)・増田誠二先生(西焼津)をはじめ、上條康光先生(清水)より、基本的な車椅子操車法から組手までを、実際に車椅子に乗車して学びました。開講時、受講生からは「想像以上に難しい、思ったように車椅子が動かない」と声もあがりましたが、講義が進むにつれ、徐々に慣れてきた様子で車椅子を操作しておりました。次年度より参段位受審の必修に盛り込まれることも相まって県内各支部より大勢の参加があり、たいへん有意義な講習会となりました。(レポート：広報部 秋山高士)



県本部主催昇段審査合格者

平成23年3月6日静岡市北部体育館

少年部初段	高田 真良(律誠館)	溝口 遥人(律誠館)	白鳥 楓(駿河)	杉本龍之介(将陽館)
中村龍之介(川根)	岡村 駿也(島田)	横山 恵人(静岡南)	村岡 真衣(静岡西)	天野 史矩(青島)
増田 友也(精誠館)	松井 柊哉(川根)	石井 青空(西焼津)	少年部弐段	山田 克旺(高洲)
一般部初段	児玉 辰彦(精誠館)	鈴木 秀明(青島)	増田 貴光(精誠館)	

...お知らせ... 新年度を目前に控え県全体をはじめ、県内各支部で大会や地域活動等が本格始動する事と思ひます。各種大会やイベントがございましたら、取材に参上いたしますので広報部まで一報下さい。また、レポートと数枚の写真がありましたら「タイムス」に掲載できますので、お問い合わせ下さい。(広報部)